



特集 ワールド・エクササイズ ほか	P 2
令和5年度 岡山県国際交流協会 年間行事予定表	P 3
事業報告 やさしい日本語研修会 ほか	P 4・5
外国人エッセイ 私の何でも自慢 すたーく・からん スターク・カランさん	P 6
語学講座のご案内 中国語講座紹介	P 7
ボランティア活動しています! みやけ ひろえ 三宅 宏枝さん	P 8
つくってみよう!世界のレシピ べとなお ばいん ちやい ベトナム (バインチャイ)	P 8
JICA寄稿 長谷川 真紀さん (岡山県JICAデスク)	P 9
イベントカレンダー りゆうがくせい けんみん こうりゆうかい 留学生と県民との交流会 ほか	P 10

おかやま 国際交流



令和4年度「ワールド・エクササイズ」

共催:岡山県日中懇話会

県民と県内在住の外国人のみなさんが一緒に体を動かして交流を楽しむイベントを開催しました。新規事業として立ち上がった令和3年度は、新型コロナウイルスの影響を受け、やむなく中止となったため、ようやく初開催を迎えることができました。

ベトナムのダーカウやそれを使ったオリジナルゲーム・ダーカウビンゴ(的当て)、多言語じゃんけん列車などをして交流しました。10歳未満の子どもから80代の方まで、とても幅広い年代の29名が参加しました。

令和5年3月4日(土)開催

はじめに、メインエクササイズとして取り入れたダーカウの説明を行いました。手本を見せる際に参加者からも飛び入りの立候補があり、会場がわっと盛り上がりました。

準備運動は、外国人参加者への紹介も込め、日本人にはおなじみのラジオ体操を行いました。

チーム分けを兼ねたアイスブレイクゲームでは、日本語・英語・ベトナム語・中国語の4言語でじゃんけん列車をしました。掛け声が1・2・3という意味だったり、パーが紙でなく布だったり国による違いも知ることができました。

ダーカウの体験では、ほとんどの参加者が初体験でしたが、みな果敢に挑戦していました。休憩中も初対面の参加者同士が輪になってラリーを続けており、和気あいあいと楽しむ姿がありました。ダーカウ

を使ったビンゴゲーム(的当て)では、チームで声を掛け合い、一丸となって勝ちを狙いました。

参加者は一緒に体を動かすことで自然と打ち解けた様子で、笑顔があふれる楽しいイベントとなりました。



ダーカウ…先端におもりのついた羽根を足で蹴り合うスポーツ。発祥地とされる中国では「毽子(ジェンズ)」。その他近隣諸国でも同様のスポーツがあるそう。



「岡山市立岡山後楽館高等学校」と パートナーシップ協定を締結しました!

岡山市立岡山後楽館高等学校と、相互の連携協力を目的とし、パートナーシップ協定を締結しました。

すでに、同校の国際理解部の生徒の皆さんが協会イベントにボランティアとして参加してくれています。今後も連携し、多文化共生と地域の国際化を推進していきます。

岡山市立岡山後楽館高等学校 校長 矢吹 玲子氏(中央)、
同校 国際理解部 顧問 大森 真由美氏(右)、
(一財)岡山県国際交流協会 福本事務局長(左)



令和5年度一般財団法人岡山県国際交流協会 年間行事予定表

月別事業

予定月	行事名	開催予定日
7月	留学生と県民との交流会	7月22日(土)
8月	子ども日本語学習サポーター研修会	8月26日(土)
	英語で話そう	8月5日(土)
9月	やさしい日本語研修会	9月16日(土)または24日(日)
	日本文化体験・交流会	9月2日(土)または16日(土)
10月	国際貢献・協力セミナー	10月14日(土)または29日(日)
	地球市民講座	10月21日(土)
11月	海外マガジンリサイクル	11月中
	地域共生サポーター養成講座・研修会	11月18日(土)
	第2回 親子で遊ぼう - Family Friendly Event -	11月19日(日)
	ワールド・エクササイズ	11月23日(木・祝)
12月	日本語ボランティアスキルアップ研修会	12月2日(土)または16日(土)
1月	多文化共生コミュニケーションサポーター研修会	R6年1月中
2月	ボランティア交流会	R6年2月10日(土)
	災害救援専門ボランティア(通訳・翻訳)研修会	R6年2月17日(土)または18(日)

今年度行うその他の事業

予定月	行事名
随時	コンシェルジュのおしゃべりサロン

*都合により、日程等は変更する場合があります。最新情報は、
下の二次元コードを読み取り当協会のウェブサイトをご覧ください。

ホームページ



Facebook



Twitter



Instagram



やさしい日本語研修会

令和5年2月11日(土)

講師:「やさしい日本語」有志の会 代表 花岡 正義氏

「やさしい日本語」の普及活動を行う花岡氏を講師に迎え、研修会を開催しました。日本語ボランティアなど外国人と接する機会の多い方や、やさしい日本語に興味のある方など38名が参加しました。

「やさしい日本語」は、1995年の阪神淡路大震災での経験をきっかけに、災害時など外国人に対しても迅速に適切な情報伝達が行えるようにと考案されました。外国人だけでなく、子どもや高齢者、障がい者など誰にとっても分かりやすい日本語です。

研修会では、はじめに「やさしい日本語」の開発経緯の説明があり、その後、言い換えや書き換えの基本のルールや手順、注意点などを学びました。講演中は、講師から参加者に練習問題が出され、一人ずつ答えていきました。

先進的な取り組みをしている自治体等の情報やウェブ上で使えるツールなどの紹介もあり、参加者からは「今後の活動に役立てたい」「積極的に使っていきたい」という意欲的な声が寄せられました。



研修会の様子



講師の花岡 正義氏

災害救援専門ボランティア (通訳・翻訳)研修会

令和5年2月23日(木・祝)

講師:一般社団法人多文化社会専門職機構 理事、一般社団法人多文化共生コスモ越谷 理事
山浦 育子氏

共催:岡山県、岡山市、倉敷市

災害時の外国人被災者の支援を迅速かつ円滑に行う体制づくりを目指して、災害救援専門ボランティア(通訳・翻訳)登録者及び災害時の外国人支援に関心のある県民を対象に、研修会を開催しました。

42名(外国人6か国14名を含む)の参加者は、講師の山浦氏から、災害時に外国人が直面する課題や支援する上での心構え、災害時の通訳・翻訳に関する留意事項等を学びました。

ワークショップ「やってみよう! 災害情報の翻訳」では、言語ごとのグループに分かれて外国人からアドバイスを受けながら災害情報の翻訳に取り組みました。翻訳活動は一人で行うことが多いですが、研修会を通じて翻訳者同士の繋がりもできました。また新たに17名の方に災害救援専門ボランティア(通訳・翻訳)に登録いただきました。



講師の山浦 育子氏



講義の様子



災害情報の翻訳に取り組む参加者

多文化共生コミュニケーションサポーター研修会 令和5年2月23日(木・祝)

講師：立命館大学 衣笠総合研究機構 専門研究員

①10:00～12:00(午前) ②13:00～16:30(午後)

元 京都市福祉事務所 中国帰国者支援相談員(中国語通訳者)

社会福祉士 飯田 奈美子氏

行政窓口や学校等で外国人と日本人のコミュニケーションを通訳としてサポートする「多文化共生コミュニケーションサポーター」。延べ19名の参加者のもと研修会を開催しました。



午前の講義スタート

午前は「コミュニティ通訳

基礎」として、コミュニティ通訳とは何かという基礎や特徴、通訳者の役割などについての講義、また架空の事例をコミュニティ通訳倫理規定に照らし合わせながら考察を行ったケーススタディを行いました。

午後は「通訳倫理と介入行為について」として、通訳者の役割と権力性と通訳者の介入行為について詳しく講義を受けました。さらに、コミュニケーションの支配と公正な介入行為について事例を取り上げ分析まで行い、またグループごとに架空の事例を倫理規定と公正介入基準双方に照らし合わせ実際に参加者自身が同じ状況になった際どのように行動するのかというケーススタディも行いました。



ケーススタディ ペアワークの発表中

これに加え通訳ロールプレイにも挑戦し、実践的な知識や対応についての学びも深めました。



ロールプレイについて先生からのアドバイス

ボランティア交流会

令和5年3月4日(土)

ボランティア活動報告者：田中 朋子氏(日本文化紹介・外国紹介ボランティア)

内藤 洋子氏、竹内 麻利子氏(図書資料室ボランティア)

リー・シュー・チン氏、ゴー・ハイ・イエン氏(コンシェルジュ)

協会ボランティア、登録希望者33名が参加し、「新しい活動につながるヒントを見つけよう!」と題し、代表者による活動報告やグループトークを通して、参加者同士で交流しました。

コーヒーインストラクターの田中氏は、世界のコーヒー産地や、コーヒー豆の栽培・収穫などの過程を紹介。コーヒーの試飲も行いました。

内藤氏は、本の帯や包装紙、リボンなど「いらなくなったもの」で作るおしゃれなしおり作りを紹介し、竹内氏のサポートのもと、参加者全員でしおり作りを体験しました。

コンシェルジュのリー氏、イエン氏は、「東南アジアあるある」と題し、マレーシアやベトナムの家庭での「あるある」を楽しく紹介しました。



さまざまなスキルや経験をもつ参加者が楽しく交流しました



コーヒーセミナー中の田中氏



しおり作りのポイントを教える内藤氏

外国人エッセイ

私の何でも 自慢

すたーく からん
スターク・ каранさん
 (米国 オレゴン州 ポートランド市出身)
 ●所属:岡山県国際課
 国際交流員 (CIR)
 ●日本滞在歴:3カ月



この春、岡山県の国際交流員に着任したスターク・ каранさんに伺いました。

出身地について教えてください。

アメリカ西海岸のオレゴン州・ポートランド市です。かつて『米国で一番住みたいまち』に選ばれたことがあります。ポートランドはおいしいコーヒーやクラフトビールの製造に熱心な人が多い、市内には2000店以上のカフェや100種以上のビールを扱う店があります。車両型屋台のような「フードカート」が集まったポッドも大人気で、移民の多い多様性のあるまちなのでいろいろな国の料理を楽しむことができます。また、美しい山々に囲まれている地域なので、私の趣味のハイキングやキャンプにはもってこいです。市内中心部を流れるウイラメット川沿いの公園では、春になると日本から贈られた桜が咲いてきれいです。



アメリカ西部の大自然
 (キャンプで撮りました)

ポートランド人の自慢はなんですか？

ポートランドの人は優しく、独特です。ポートランドには『Keep Portland Weird!』というスローガンがあります。『ポートランド人らしく風変わりであれ』という意味が皆さんに伝わりますか？お互いの独自性をみとめる生き方は私

たちの自慢です。LGBTQ+の人も多くいますし、派手な服を着ている人や、公共の場で大道芸をしている人もいます。例えば、祭りでスターウォーズのダース・ベイダーの仮面をかぶりキルトを身につけ、一輪車に乗りながらバグパイプを吹く不思議な男性がいますが、ポートランドらしい変わり者として地元の自慢となっています。

スタークさんも、変わりものですか？(笑)

長い間工学を専攻していたのに、途中で外国語に専攻を変えてしまうと、ポートランドを離れ外国に住もうという人はあまりいません。それは私のポートランドっらしい一面だと思います。たまたま運動のために剣道を習い始め、そこで日本文化や日本人、日本語に触れたおかげで本気で学びたいと思い日本語学科専攻に変更したのです。



少年とオクラ取り(岩国)

日本で働こうと思ったきっかけは？

学生時代に5週間かけて初めて日本を旅行したことがきっかけで、「日本で生活したい」と思い始めました。旅行中いろいろな所に行きましたが、一番印象的だったのは山口県での農業体験です。

周防大島と岩国市に1週間ずつ、地域の農家に宿泊し、一緒に農作業をしました。おいしいご飯や楽しい会話、そして面白い体験など、実際にコミュニティの一員として受け入れてくれた思いやりや、彼らの大自然と共存する生活に魅了され、今でも懐かしく思い出します。

着任してみてどうですか？

4月に着任したばかりで、わからないことが多いですが、大事な仕事を任せてくださる国際課の方々に感謝しています。日々、新鮮な気持ちで取り組むことができている。何より人々の助けになる仕事にすごく満足しています。そして、仕事だけでなく、プライベートでも岡山県の皆さんと大に交流したいです。



ポートランド市の桜



ポートランドのスローガン

語学講座の ご案内

インドネシア語・韓国語・中国語・日本語講座が協会で開催されています。

今回は**中国語講座**のご案内です。



岡山県華僑華人総会との共催で、入門、初級、中級、上級(A・B)の計5講座を前期21回、後期21回開催しています。

約45年間続いている岡山県では一番長い中国語講座です。自分のレベルに合うクラスを選ぶことができ、小学生から大人までさまざまな年齢層の方が一緒に楽しく勉強しています。

講師は中国出身の岡山大学大学院の留学生が丁寧に指導してくれます。

では受講生に「受講理由」を聞いてみましょう!

- 中国や台湾へ旅行したい
- 仕事で中国の方と関わるため
- 中国のドラマを字幕なしで見たい
- 留学のため
- 中国の文化、発音に興味がある
- 身近に中国の方がいて話したい
- 正しい中国語を聞く機会がない
- みんなと(仲間)学べる などなど。



入門と杜先生です!

実際に受講してみた感想は・・・?

- 新しいことを学べて楽しい
- 中国の文化、現在の状況を知ることができる
- 最新の中国の若者の流行語、ネット語を聞くことができる
- 生の中国語が聞けて、仲間がいることは大きい
- 講師が優しい
- 辞書には載っていないことを教えてくれる
- 受講生の意見、要望を取り入れてくれる
- 教え方が上手
- クラスのみんなと勉強できることが楽しい!



など、受講生が前向きに、楽しく中国語を学んでいることが良くわかります。

劉先生は、教えることで自分も学ぶことが多く、楽しいと言われます。

いつからでも受講開始可能なので興味を持たれた方はぜひ、気楽に参加してみてください。

詳細は協会ホームページをご覧ください。
URL:<http://opief.or.jp>



上級A 劉先生クラス



上級B 張先生クラス(初級も担当)



中級 伍先生クラス

ぼらんていあかつどう ボランティア活動しています！



つやくほんやくぼらんていあがいこくしょうかい
通訳・翻訳ボランティア、外国紹介
ボランティア、協会サポーター

みやけひろえ
MIYAKE GAY HIROE (三宅 宏枝) さん

岡山県国際交流協会でのボランティア活動のきっかけ

私はアメリカと日本で小学校へ通い、中学生になると岡山市と国際友好交流都市であるサンノゼ市(米国)からのお客様に学校案内をしたり、車で困っている旅行者の通訳をしたりしていました。新型コロナウイルスのパンデミックが続く中、ボランティアとしての達成感や醍醐味を再び味わいたいと考えて、ボランティアに登録しました。



子どもたちと英語で交流中！



岡山県国際交流協会でのボランティア活動について

綿密に計画されたプログラムの中で充実したボランティア活動をさせていただいております。例えば「英語で話そう」「親子で遊ぼう-Family Friendly Event-」「留学生等による国際理解学習支援プログラム」では、テーマに合わせた多様なイベントの手伝いをさせていただきました。また、養成講座や研修会では、講義をはじめ意見交換や経験の共有ができ、ボランティアとしても有意義な時間を過ごすことが出来ると同時に、通訳者・翻訳者としても良い勉強の機会となっています。



これからのボランティア活動について

私は、自分が岡山県国際交流協会という大きな木の枝についた1枚の葉っぱであると捉えています。これからもその幹が太くなり、枝もどんどん伸び、世界中の人々に届くよう、岡山県国際交流協会に関わる皆様とともに私も成長していければと思っています。

Viva la OPIEF!

ハワイについての授業を行った際の一コマ



ばいんちやい
バインチャイ

ばいんちやい バインチャイ

ベトナムでは、旧暦3月3日(4月下旬)の寒食節に「バインチャイ(Bánh Trôi)=黒糖入り団子」、「バインチャイ(Bánh Chay)=緑豆あん入り団子」を食べます。今回はバインチャイの作り方を紹介します。

材料 (2人前)

- | | |
|--|--|
| <p>緑豆あん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑豆(皮むき) … 80g ・砂糖 …… 大さじ4 ・ココナッツミルク… 大さじ2 <p>団子の生地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白玉粉 …… 150g ・ぬるま湯 …… 150ml | <p>くず湯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くず粉 …… 12g ・水 …… 400g ・砂糖 …… 大さじ4 |
|--|--|

つくってみよう！ 世界のレシピ

ばいんちやい つくかた
バインチャイの作り方を
おしえてくれたイエンさん



つくり方

- ① 緑豆を2時間程度水に浸けておきます。
- ② ①の緑豆の水気を切り、ヘラや麺棒でつぶします。
- ③ 鍋に②、砂糖、ココナッツミルクを入れて加熱しながらよく混ぜます。
- ④ ③の粗熱をとり、小さく丸めます。
- ⑤ 団子の生地を作ります。白玉粉に少しづつぬるま湯を入れ、耳たぶくらいの柔らかさになるまでこねます。
- ⑥ 団子の生地を均等にちぎり、緑豆あんを入れて丸めます。
- ⑦ 沸騰したお湯に⑥を入れ、浮き上がってから1分茹でたら、冷水で冷めます。水気を切って皿に盛りつけます。
- ⑧ 鍋にくず粉、水、砂糖を入れて加熱したものをかけます。

緑豆あんの代わりに黒糖を入れると、バインチャイになります。ココナッツミルクをかけたリ、くず湯にショウガを入れたり、アレンジができます。



JICA 寄稿



はじめまして! 岡山県JICAデスク 国際協力推進員着任のごあいさつ

独立行政法人国際協力機構 (JICA)
岡山県国際協力推進員

長谷川 真紀さん

こんにちは! 4月12日に国際協力推進員に着任した長谷川真紀と申します。みなさんは、「国際協力」と聞いて、どんなイメージが思い浮かびますか。

私が国際協力を興味を持ったきっかけの1つは、ベネズエラのスラム地域の人々との出会いでした。物は豊かではないけれど、彼らはキラキラとした笑顔で、力強く暮らしていました。その姿を見て、「幸せって何だろう」、「豊かさって何だろう」と考えるようになったのです。

もう1つの大きなきっかけは、「東南アジア青年の船」という国際交流事業への参加です。この事業では、ASEAN諸国と日本の青年約300名



山岳民の子どもたち(フィリピン)

が、2カ月間、一緒に暮らし、活動しました。さまざまな考え方を持つ人と交流し、社会のあり方について考えるのは、とても新鮮な体験でした。また、交流経験から得たものを、多くの人と共有したいと感じました。

その後、私はNGOをとおして、海外の農山村での地域づくりに関わりました。活動した国は、ケニア、ザンビア、ネパール、フィリピン。ファシリテーターとして、住民が自ら思い描く未来に向けて行動するお手伝いをしました。現

地の人々と暮らしながらの活動は、私にとって学びの宝庫でした。

中でも、フィリピンの山岳民が自然に寄り添って生きる姿に、大きな魅力を感じました。また、彼らの価値観に触れ、何度もハッとさせられました。例えば、こんな出来事がありました。ある時、村のリーダーの1人が、電気を導入しようとして提案しました。私は、住民の多くが、この提案に賛成するだろうと予想していました。ところが、ほとんどの人が反対したのです。みなさんは、反対の理由は何だったと思いますか。その答えは、...。日が暮れても仕事ができるようになると、家族の対話や関わり合いが減るから、だったのです。素敵な考え方だなと感動し、豊かさの定義は人それぞれ違うのだと、改めて実感しました。



森林利用者グループの話し合い(ネパール)

私にとって、国際協力とは、多様な背景を持つ人が学び合うこと。

世界はつながっていると気づくこと。そして、一緒に未来を描いて行動を起こすことです。誰もが暮らしやすい社会に関心のある方。グローバルに活動したい方。自分の経験や力を誰かとシェアしたい方。何から始めるか迷っているあなた。ぜひ、JICAデスクにお声がけください!

国際協力に関するご相談は岡山県JICAデスク(長谷川)まで。

E-mail : jicadpd-desk-okayamaken@jica.go.jp / 電話 : 080-2934-8497

Facebook : <https://www.facebook.com/jica.okayama>

〈会場はすべて岡山国際交流センターです。問合せ・申込みは企画情報課まで。〉

7月

留学生と県民との交流会

県内在住の留学生が講師となり、出身地の文化を紹介し、自由に会話をする時間もあります。

- と き 令和5年7月22日(土) 13:30~15:30(予定)
- 対象 国際交流に興味のある県民、県内在住外国人
- 参加費 無料 ●定員 40名(要申込み、先着順)
- 申込み 企画情報課(6月下旬受付開始予定)

8月

英語で話そう

楽しみながらさまざまな国の英語に触れ、コミュニケーションをすることで異文化への関心や理解を深めます。英語の世界へようこそ。

- と き 令和5年8月5日(土)
- 対象 簡単な日常会話ができる方
- 参加費 協会会員・外国人・高校生以下 無料、一般2,000円
- 定員 40名(要申込み)
- 申込み 企画情報課(7月上旬受付開始予定)

子ども日本語学習サポーター研修会

児童生徒への日本語学習支援に必要な知識と技術を学びます。修了者は「子ども日本語学習サポーター」として登録できます。

- と き 令和5年8月26日(土) 13:30~15:30(予定)
- 対象 「子ども日本語学習サポーター」登録者及び新規登録希望者
- 参加費 無料 ●定員 40名(要申込み、先着順)
- 申込み 企画情報課(7月受付開始予定)

9月

やさしい日本語研修会

外国人にも理解しやすい「やさしい日本語」の研修会を開催します。

- と き 令和5年9月16日(土)または24日(日)
- 対象 日本語ボランティア、学校教諭、多文化共生コミュニケーションサポーター、地域共生サポーター、やさしい日本語に興味のある方など
- 参加費 無料
- 定員 50名(要申込み、先着順)
- 申込み 企画情報課(8月中旬受付開始予定)

日本文化体験・交流会

在住外国人に日本文化を紹介・体験する機会を提供し、親しみや理解を深めてもらいます。日本人の方にもご参加いただけます。日本文化を通して交流を深めましょう。

- と き 令和5年9月2日(土)または16日(土)
- 対象 協会会員・外国人・一般
- 参加費 協会会員・外国人・高校生以下 無料、一般2,000円
- 定員 外国人15名、日本人15名(要申込み、先着順)(予定)
- 申込み 企画情報課(8月中旬受付開始予定)

会報誌アンケートのお願い 今後の参考にさせていただくため、ご協力をお願いします。

特別展「美をたどる 皇室と岡山～三の丸尚蔵館収蔵品より」(県立美術館開催) チケットを5名様にプレゼント!

令和5年7月10日(月)までにアンケートにご協力いただいた会員の中から抽選で5名の方に、岡山県立美術館で開催される特別展(会期:令和5年7月15日(土)~8月27日(日))のチケット2名分をお送りします。発表は発送をもって代えさせていただきます。

三の丸尚蔵館は、皇居の東御苑内において、皇室に代々受け継がれた絵画・書跡・工芸品などの美術品を収蔵管理・調査・公開する施設です。本展では書跡、日本絵画、洋画、彫刻、工芸などの各分野から、同館が所蔵する皇室ゆかりの多彩な美術作品をご紹介しますとともに、岡山が輩出した作家たちによる皇室ゆかりの作品を一挙に展覽いたします。国宝 高階隆兼《春日権現験記絵》巻11(部分) 延慶2年(1309)頃




会員募集

一般財団法人岡山県国際交流協会では会員を募集しています。

☆会員の特典

- 会報誌「おかやま国際交流」による国際交流情報の提供(年4回)
- メールマガジンの配信(月1回)
- 協会主催事業への参加費割引(団体会員は1団体2名までを割引)
- 入会時に記念品をプレゼント

☆年会費

個人会員: 2,000円 団体会員: 10,000円
賛助会員: 30,000円

☆申込み・問合せ 総務課まで

TEL:086-256-2000 ※9:00~17:30(月~土曜日)
E-mail: kokusai@opief.or.jp

最新情報は、当協会のホームページやFacebook、Twitter等で随時お知らせします。



問合せ

一般財団法人岡山県国際交流協会 企画情報課

☎086-256-2914 (月~土 9:00~17:00)
総務課 ☎086-256-2000 (月~土 9:00~17:30)

会議室等の予約 受付管理班 ☎086-256-2905 (9:00~17:30)

[休館日] 12月29日~1月3日及び臨時休館日(ただし日曜日は貸室業務以外休み)

編集・発行

〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1
岡山国際交流センター内 一般財団法人岡山県国際交流協会
☎086-256-2000(月~土 9:00~17:30)
☎086-256-2226

ホームページ: <http://www.opief.or.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/coolopief/>

Twitter: https://twitter.com/opief_okayama

Instagram: https://www.instagram.com/opief_okayama/

E-mail: kokusai@opief.or.jp